大野城心のふるさと館年報

2020

－令和２年度－

－歴史と、まちと、人と、想いと－「つなぐ、つながる。」

市民ミュージアム

大野城心のふるさと館

Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

大野城心のふるさと館年報

2020

－令和２年度－

目次

はじめに

１　大野城心のふるさと館概要
1-1　施設・・1
1-2　組織・職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

２　展示
2-1　常設展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
2-2　ミニテーマ展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
2-3　パネル展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
2-4　大野城コレクション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
2-5　特別展・企画展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

３　教育普及
3-1　学校連携事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
3-2　体験型事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
3-3　団体利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
3-4　まち歩き事業・文化財公開事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
3-5　講座・講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
3-6　ふるさとラボ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
3-7　研修生等受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

４　催し・施設貸出など
4-1　にぎわいづくり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
4-2　つながる事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
4-3　活用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
4-4　施設貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
4-5　ここふるショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
4-6　オリジナルグッズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

５　他機関との連携・交流
5-1　大韓民国国立公州大学校博物館学術文化交流協定・・・・・・・・・・・・・・・27
5-2　視察等受入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

６　市民・地域との連携
6-1　ふるサポの会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
6-2　ここふる友の会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
6-3　山城楽講・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29

７　情報発信・広報
7-1　情報発信・広報ツールの活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
7-2　発行物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

８　資料収集・貸出
8-1　資料の収集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
8-2　資料の貸出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

９　文化財調査・整備
9-1　文化財の調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
9-2　文化財の指定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
9-3　文化財の公有化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
9-4　文化財の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

10 施設管理
10-1　ＩＰＭ管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
10-2　危機管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37

11　統計
11-1　施設利用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
11-2　来館者アンケート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

はじめに

市民ミュージアム　大野城心のふるさと館の令和２年度の活動内容と各種活動への参加人数等をご報告いたします。令和２年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために前年度末の２月 29 日より５月 18 日まで休館措置を実施しました。そのため、人影のない館内で新年度を迎えることになりました。

休館中だけでなくその後も新型コロナウイルス感染症の感染状況が好転しなかったことから、予定していた特別展や各種イベント等をやむなく中止や延期いたしました。開催を楽しみにしていた皆様には申し訳ないことになりました。とりわけ、市内の小中学校を対象に総合学習や社会科を中心にサポートする学校連携事業は、前年度 3,000 人弱の生徒に来館してもらいましたが、今年度は 200 名余りに留まりました。そこで、小中学校へ出かけて学習の機会を作るようにしました。

また、緊急事態宣言中をはじめ、ステイホームを余儀なくされている子供たちのために、「ここふる学校」という動画や静止画によるいわば課外授業をホームページで公開し、北海道博物館が提唱した「おうちミュージアム」に参画して、ぬり絵や工作、ゲームなどを提供しました。このようにコンテンツの新しい情報配信に力を入れた一年間でもありました。

コロナ禍の中での取り組みでは、特別展「東京藝術大学スーパークローン文化財展　アジアの美にふれる」は、臨場感あふれる現地の再現がなされ、多くの来館者を迎え、同時に高い評価を頂きました。期間中は東京に緊急事態宣言が発出中にも関わらず東京藝術大学の関係者には多くのサポートを頂きました。

今後も、「大野城市公共施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って万全の予防対策を実施しながら、来館者の安全を最優先に運営にあたる所存です。このように高い安全性を確保しながら、市民の生活に欠かせない施設としての社会的役割を果たせるよう、皆様のご理解とご支援を賜りたいと思います。

市民ミュージアム　大野城心のふるさと館長
赤司　善彦

1　大野城心のふるさと館概要

1-1　施設

（1）名　　称　　大野城心のふるさと館

（2）所 在 地　　福岡県大野城市曙町３丁目８番３号

（3）設置目的　　郷土の歴史、民俗等に関する資料の保存及び活用により、市民の郷土の歴史に対する理解を深め、歴史の継承を図るとともに、地域資源を活用した市民の交流促進及び地域の活性化に寄与するため。

（4）開館年月日　平成 30（2018）年７月 21 日

（5）敷地面積　　2,284.62 ㎡

（6）建　　物　　建築面積　1,333.20 ㎡　／　延床面積　3,417.15 ㎡
鉄筋コンクリート造地下１階地上３階

（7）開館時間　　９時～19 時

（8）休 館 日　　月曜日（月曜日が祝日の場合、翌平日）、12 月 28 日から１月４日

（9）入 館 料　　無料　※特別展は有料

（10）案 内 図

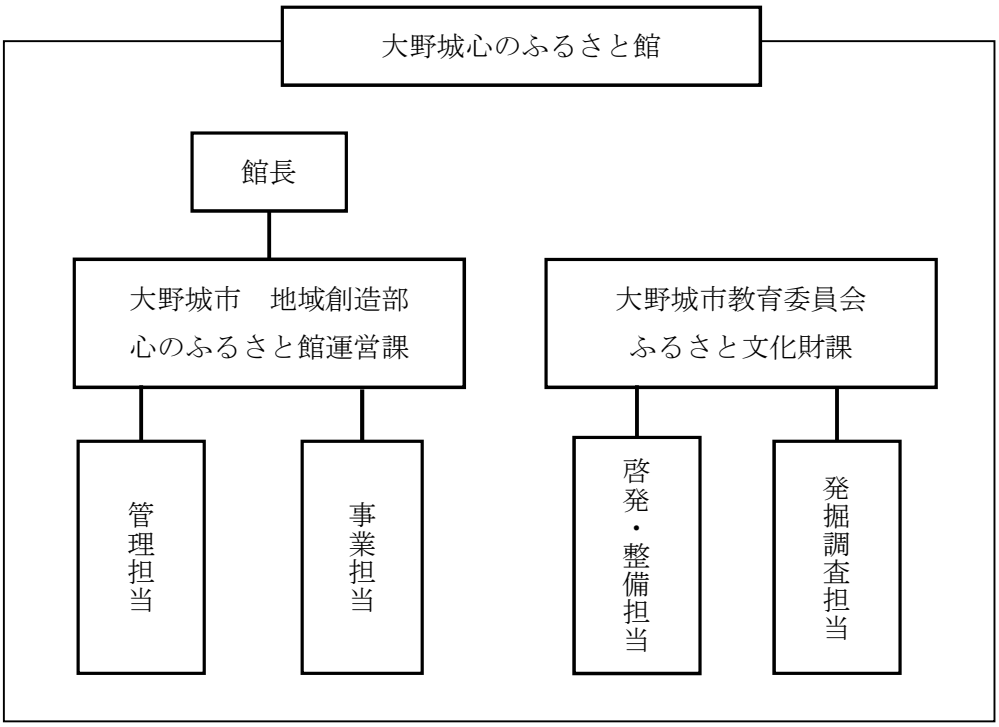
西鉄
西鉄　福岡（天神）駅から急行約 12 分 ◎西鉄春日原駅より徒歩約 12 分
ＪＲ
ＪＲ　博多駅から快速約 13 分 ◎ＪＲ大野城駅より コミュニティバスまどか号 大城ルート乗車 「まどかぴあ」下車すぐ
自動車
◎九州自動車道大宰府ＩＣ 大野城方面出口より約６分 ◎福岡都市高速大野城出入口から 大野城方面約 10 分 ※駐車場は市役所駐車場（無料）を利用

（11）フロア図

3F ⑩ 企画展示室
Special Exhibition Room
当館や他館の資料を展示する特別展を行います。
3F ⑪ ふるさとラボ
Local History Room
目加田ライブラリーや郷土資料の閲覧など、
より詳しい情報を調べることができます。
書庫
Book Repository
ホワイエ
Relaxation Lounge
整理復元室
Restoration Room
テラス
Terrace
3F — 調 Shirabe-Ba
大野城市のことがまるわかりだじょー
2F ⑦ 牛頸須恵器ファクトリー
Ushikubi Sue Ware Hands-on Exhibition
須恵器を焼く窯や工房を再現。
牛頸須恵器窯跡の概要がわかる展示です。
2F ⑧ 水城・大野城シアター
Mizuki & Onojo Castle Ruins Theater
シアター映像や復元模型へのプロジェクションマッピングで、水城・大野城ができた時代に迫ります。
2F ⑨ ミニテーマ展示
Mini Exhibition
郷土資料や特別展などの内容に合わせた展示を行います。
一般収蔵庫
Storage Room
大野城コレクション
Onojo Collection
講座学習室
Lecture Room
常設展示1
Permanent Exhibition 1
ハンズオンコーナー
Hands-on Learning Room
常設展示2
Permanent Exhibition 2
M2F
2F — 学 Manabi-Ba
2F ⑤ 大野城タイムライン
Onojo Timeline
旧石器時代から現代まで、
大野城市の歴史がわかる展示です。
2F ⑥ 百間石垣ウォール・クライミング
Hyakken Stone Wall Ruins, Climbing Wall
大野城跡の百間石垣の一部を再現。
隣には高さ7mのクライミングコーナーがあります。
（ご利用には初回登録と当日予約が必要です。）
1F ③ 大野城ダイナビジョン
Onojo Dynavision
大野城市の歴史や最新の観光情報をお知らせするほか、
たのしいミニゲームもあります。
1F ④ ここふるショップ＆カフェ
Museum Shop and Café
オリジナルグッズや地域の特産品、推奨品などを取り扱っています。カフェでは市内の団体や飲食店による日替わりランチを提供しています。
出入口
Entrance
ジョーホール
Lobby - Joe Hall -
ラウンジ
Relaxation Lounge
出入口
Entrance
1F — 遊 Asobi-Ba
1F ① こども体験ギャラリー
Kids History Experience Room
ボールプールやすべり台で未就学児が遊べるコーナーやおりがみ・昔遊びなどでみんなが遊べるコーナーがあります。
（土日はワークショップも開催しています。）
1F ② 昭和のくらしコーナー
Lifestyle Exhibition of the Showa Era
市内の農家をモデルに、昭和20～40年代のなつかしの暮らしを再現。定期的に展示替えイベントも行っています。

1-2　組織・職員

（１）運営体制（組織図）



（２）令和２年度の職員

館　　長　　赤司　善彦

大野城市地域創造部　心のふるさと館運営課

課　　長	岩下　剛司
【管理担当】	
参事補佐兼係長	島　朋宏
再任用係長	武下　龍也
主任主事	永利　舞
主　　事	松山　明子
【事業担当】	
参事補佐兼係長	早瀬　賢※
主任主事	小野　綾海
主任技師	龍　友紀※
主　　事	高尾　愛
主　　事	池之上　暢彦
会計年度任用職員	今村　杏奈※
会計年度任用職員	武末　由美※
会計年度任用職員	舟山　良一※
会計年度任用職員	白井　夕美子※
会計年度任用職員	主税　和賀子※
会計年度任用職員	鬼束　芽依※
会計年度任用職員	原口　香那
会計年度任用職員	高橋　俊介

大野城市教育委員会　ふるさと文化財課

課　　長	石木　秀啓
【啓発・整備担当】	
参事補佐兼係長	佐藤　智郁
参事補佐兼係長	林　潤也
主　　査	徳本　洋一
主任主事	秋穂　敏明
主　　事	鮫島　由佳※
会計年度任用職員	山村　智子※
会計年度任用職員	西村　友美
会計年度任用職員	深町　美佳※
会計年度任用職員	三好　りさ
【発掘調査担当】	
参事補佐兼係長	上田　龍児
技　　師	山元　瞭平
技　　師	齋藤　明日香
会計年度任用職員	澤田　康夫
会計年度任用職員	木原　尭

※学芸員

２　展示

2-1　常設展示

大野城タイムライン

旧石器時代から近現代までの市内の遺跡から出土した遺物や市民からの寄贈品を通史的にコンパクトに展示しており、タッチパネルにより各時代の詳細な解説をみることができる。
≪展示資料≫貨布、ヘラ書き須恵器、人面墨書土器、中国産白磁椀　など

水城・大野城シアター

国の特別史跡である水城跡・大野城跡を模型や映像、プロジェクションマッピングを使ってわかりやすく紹介している。ペンライト型の照明で模型を照らすと古代の山城から中世の山城、現代の発掘調査までの歴史のシーンを見ることができる。
≪展示資料≫水城・大野城全景模型、水城西門・太宰府口城門・増長天礎石群・百間石垣再現模型

善一田古墳群と乙金地区遺跡群

市北東部の乙金地区の区画整理に伴い発見された善一田古墳群を中心とした乙金地区遺跡群から出土した資料を展示している。「モノづくり」と「交流」をキーワードに、不定期に展示替えを行っている。
≪展示資料≫鉄刀、新羅土器　など

牛頸須恵器ファクトリー

国史跡である牛頸須恵器窯跡の窯や工房を再現し、生産された須恵器などの資料を展示している。
≪展示資料≫牛頸須恵器窯跡出土須恵器、ヘラ書き須恵器（福岡県指定文化財）

収蔵展示

一般収蔵庫の壁面を利用して土器や石器、民具などを展示。設置されたＬＥＤによりカラフルな照明演出をかけることができる。季節やテーマに合わせ、年に２回の展示替えを行っている。

昭和のくらしコーナー

大野城市内の民家をモデルに昭和のくらしを復元。壁の変更、土間から板間への変更、小物の入れ替えなどにより、昭和 20 年代、30 年代、40 年代の３時代に展示替えが可能で、定期的に展示替えを行っている。通常、来館者は家屋に入り、展示品に触れて学ぶことができるが、新型コロナウイルス感染症対策により、現在は見学のみの運用を行っている。

2-2　ミニテーマ展示

地域の歴史や身近な文化財への関心を深めること、郷土への愛着形成などを目的に、市に関連する展示や特別展の内容に合わせた展示などを行っている。

新収蔵品展「市民のたから」

会　　期　　令和２年６月 16 日（火）～９月 13 日（日）

内　　容　　地域の歴史や文化を知る上で欠かせない文化財には、考古や民俗資料、古写真など、さまざまなモノがある。近年大野城市に寄贈されたり、再整理によって見つかった資料を展示、紹介。

展示資料　　９件 27 点

企画展「大野城市の戦争とくらし」

会　　期　　令和２年 10 月６日（火）～11 月 29 日（日）

内　　容　　寄贈資料や発掘資料から戦中のくらしについて展示。大野城コレクションと収蔵展示では、米軍板付基地とともに歩んだ戦後の大野城市を紹介。

展示資料　　51 件 80 点

関連事業

【まち歩き】

「米軍板付基地の思い出をめぐる」

米軍ハウスや板付基地、試射壕跡など、大野城市と周辺の関係地をめぐるまち歩き。

・開催日：令和２年 10 月 11 日（日）　　・参加数：20 名

・講師：井上　善久氏　　・協力：春日ベース・ハウスの会

【講演会】

「大野村周辺における軍需産業と本土決戦準備」池田　拓氏（宗像市文化財課）

・開催日：令和２年 11 月３日（火・祝）　　・参加数：43 名　　・場所：講座学習室

・講師：池田　拓氏（宗像市文化財課）

【特別企画】

「米軍板付基地の思い出を語る」

・開催日：令和２年 11 月７日（土）　・参加数：25 名　　・場所：講座学習室

・協力：春日ベース・ハウスの会

【ワークショップ】

「はじめての防災頭巾づくり」

・開催日：令和２年 11 月 22 日（日）　　・参加数：７名　　・場所：講座学習室

2-3 パネル展

１階のジョーホールなどを利用して、文化財や史跡を紹介するパネル展示を行っている。

日本遺産広域型認定記念パネル展

会　期　　令和２年６月 20 日（土）～９月 30 日（水）

内　容　　日本遺産「古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～」の認定を記念して、日本遺産の概要や市内の構成文化財を紹介。

日本遺産「古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～」広域認定記念パネル展

会　期　　令和２年 10 月 10 日（土）～12 月 27 日（日）

内　容　　令和２年６月に日本遺産の広域認定（大野城市、筑紫野市、春日市、太宰府市、那珂川市、宇美町、佐賀県基山町）された市町村の構成文化財を紹介。

パネル展　再発見！ふるさとのたから

会　期　　令和２年 11 月７日（土）～11 月 23 日（火）

内　容　　市内に所在する国・県・市指定文化財全 24 件のうち、日本遺産に認定されたものを中心に 10 件の写真を選定し、解説パネルとともに紹介。

大宰府史跡指定 100 年事業「水城の今とむかし」展

会　期　　令和３年３月２日（火）～３月 28 日（日）

内　容　　大正 10（1921）年３月３日に全国で初めて大宰府跡と水城跡が国の史跡に指定されてから 100 年。同じカットの新旧写真を見比べ、水城跡の今とむかしを振り返る。

2-4 大野城コレクション

可動式棚を利用して、作品や収集品等の展示を行っている。貸館として、一般利用者の利用も可能。

令和２年度使用実績			
タイトル	会期	内容・展示資料	主催
まどかの宝さがし	５月 30 日（土）～６月 14 日（日）	市特産品・推奨品の PR 展示	大野城市
レトロ絵葉書展 九州遊覧	６月 16 日（火）～９月 13 日（日）	ふるさと文化財課職員所蔵の明治時代後期から昭和時代初期にかけての九州各地の観光地の絵葉書（太宰府天満宮、雲仙、阿蘇、別府温泉など）を展示	大野城市
企画展　大野城市の戦争とくらし	10 月６日（火）～11 月 29 日（日）	企画展の一部として使用	大野城市
凧と郷土玩具の 赤づくし展	12 月４日（金）～12 月 27 日（日）	古来より特別な力が宿ると考えられた赤色。病平癒を祈願して作られてきた赤い郷土玩具を、病を克服して新年を迎える願いを込めて展示。	大野城市
Hope Light Our Way/ 希望の道を、つなごう。	令和３年 １月５日（火）～２月 13 日（土）	東京 2020 オリンピック聖火展示に合わせ、1964 年東京オリンピックの振り返りや本市出身のアスリートを紹介。	活用事業 （スポーツ課）

はじめての博多人形展	３月２日（火）～３月 28 日（日）	かわいく、どこか懐かしい博多人形の展示	田中勇気博多人形工房と大野城市の共催（つながる事業）
まどかの宝さがし	３月 30 日（火）～４月 11 日（日）	市特産品・推奨品の PR 展示	大野城市

2-5　特別展・企画展

令和２年度開催の特別展・企画展

会期	特別展・企画展名
10/6～11/29	企画展　「発掘された大野城市の遺跡展」
1/16～3/14	特別展　「東京藝術大学　スーパークローン文化財展　アジアの美にふれる」

※春に予定の「歴史教科書でみる考古名品」及び夏に予定の「きゅーだいのすっごいお宝、みーつけた！－「知」のワンダーランドへようこそー」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（延期）。

企画展「発掘された大野城市の遺跡展」

会　　期　　令和２年 10 月６日（土）～11 月 29 日（日）（48 日間）

内　　容　　「つくる」を共通テーマに、近年報告書が刊行された遺跡や関連遺跡の資料を中心に展示。また、令和２年６月に広域認定を受けた「日本遺産」の構成文化財の紹介を行った。

展 示 品　　石勺遺跡・金山遺跡・原田遺跡・笹原古墳・古野古墳群・善一田古墳群・薬師の森遺跡・本堂遺跡・ハセムシ窯跡・谷蟹窯跡・水城跡・宝松遺跡・御笠の森遺跡・後原遺跡出土遺物など

観 覧 料　　無料

観 覧 数　　2,228 名（１日平均：46.4 名）

関連イベント

【たんけん！はっけん！いせきてん！】

会期中、小学生以下を対象に、展示品とタイトルを結びつける「はっけん１」と１番お気に入りの展示品の絵や感想などを書く「はっけん２」を完成させると、オリジナルグッズが当たるガラポンに挑戦できるイベントを実施。

・参加数：644 名

【講演会】

「大野城市の遺跡を掘る」

・開催日：令和２年 11 月１日（日）　　・参加数：23 名　　・場所：講座学習室

【子ども考古学体験】

・開催日：令和２年 11 月 23 日（月・祝）　・参加数：５名　　・場所：講座学習室

特別展「東京藝術大学スーパークローン文化財展　アジアの美にふれる」

会　　期　　令和３年１月 16 日（土）～３月 14 日（日）（50 日間）

内　　容　　スーパークローン文化財とは、最先端技術と職人の手わざによって制作された高精細な再現文化財である。本特別展では、奈良・法隆寺金堂の、焼損した「金堂壁画」、間近で鑑賞することができない「釈迦三尊像」、保存のために一般公開が困難な「高句麗古墳群江西大墓」・「敦煌莫高窟第 57 窟」等、私たちが実物を鑑賞することが難しい貴重なアジア・シルクロードの文化遺産を、東京藝術大学のプロデュースのもと、音や香り・照明などを駆使し、現地の臨場感を再現しながら展示した。

展 示 品　　法隆寺金堂壁画、法隆寺釈迦三尊像、敦煌莫高窟第 57 窟、油彩画・浮世絵のスーパークローン文化財（再現文化財）等など 20 点

観 覧 料　　一般 400 円（友の会 350 円、団体 350 円）
高校生以下 100 円（友の会 50 円、団体 50 円）
未就学児無料

観 覧 数　　6,852 名（１日平均：137 名）

図　　録　　『シルクロード特別企画展　素心伝心　クローン文化財失われた刻の再生』
Ａ４判本文 144 ページ／1,800 円
編集・発行：東京藝術大学シルクロード特別企画展実行委員会

関連事業

【ワークショップ：観覧者特典無料ワークショップ】

会期中を通じて、特別展の観覧者限定特典として、展示作品に関連した家族で楽しめる無料のワークショップを開催。

・種　類：咲かせてみよう！梅の花／浮世絵でふくわらい／ぬりえ（ゴッホ／歌川広重）

・参加数：4,058 名

【ワークショップ：色彩のひみつ】

東京藝術大学のスタッフとともに、講師解説のもと作品を鑑賞し、展示作品中で好きな色のクレヨンを作るワークショップを開催。

・開催日：２月 13 日（土）、14 日（日）※１日２回　・参加数：27 名

・場所：講座学習室

・参加費：400 円（別途特別展の観覧券が必要）

・ファシリテーター：近藤乃梨子氏、田辺梨絵氏　・クレヨン制作講義：荒殿優花氏（東京藝術大学）

【オンラインギャラリートーク】

大野城心のふるさと館 YouTube チャンネルで、特別展の魅力を伝えるギャラリートークを４Ｋ映像で配信（全３回）。

・テーマ：①法隆寺釈迦三尊像・法隆寺金堂壁画
②敦煌莫高窟第 57 窟・高句麗江西大墓
③油彩画・浮世絵
・解説者：並木秀俊氏（東京藝術大学 COI 拠点特任准教授）
・配信日：２月４日（木）～３月 14 日（日）

【ギャラリートーク】

当日観覧中のお客様に向け、各回 20 分程度のギャラリートークを開催（全３回）。

開催日	時間	テーマ	参加者数
２月 21 日（日）	午前 10 時～	法隆寺釈迦三尊像・法隆寺金堂壁画	41 名
２月 23 日（火・祝）	午後３時～	油彩画・浮世絵	
３月６日（土）	午後３時～	敦煌莫高窟第 57 窟・高句麗江西大墓	

大野城心のふるさと館特別展スタンプラリー2020→2021

実施期間　令和２年 10 月～令和４年３月

内　　容　３階企画展示室で開催される特別展・企画展を観覧してスタンプを集めるスタンプラリー。スタンプを５個または４個集めると缶バッジをプレゼント。また、抽選で令和４年度に使用できる特別展年間無料パスをプレゼント。

３　教育普及

3-1　学校連携事業

ふるさとの歴史をはじめとする地域資源、環境に興味・関心を深め、主体的な活動を促すという学習指導要領のねらいを踏まえ、総合学習や社会科を中心に、館の展示・収蔵品などの資源、体験型事業を活かした学習プランや学習教材を提供し、市内小中学校の教育活動をサポートしている。

令和２年度実績　　【館内】市内小学校１校、市外小学校１校　全２回、220 名
　　【出張】市内小学校３校、中学校１校　　全４回、492 名

対象	タイトル	概要
小学校	①　大野城市の発展につくした人	牛頸用水路と森山庄太についての座学、たぬき掘りやもっこの体験
	②　昔のどうぐ〔館内・出張〕	昭和 20・30・40 年代の暮らしの様子についての学習
中学校	③　地方自治に関する発展的学習〔出張〕	心のふるさと館を題材とした郷土愛を主題とする授業

3-2　体験型事業

ここふるＡＲ

利用者のスマートフォンやタブレット端末への AR アプリの無料ダウンロード及び館内でのタブレット端末の貸出により、AR システムによる解説を常時実施している。

※タブレット端末の貸出は１回２時間以内。

（AR なし）

（AR あり）

≪１階ダイナビジョン前≫

百間石垣ウォール・クライミング

大野城跡の百間石垣の一部を壁面に再現し、約７メートルの石垣の高さを体験できるウォール・クライミングを設置しており、土日祝日には小学生以上を対象としたウォール・クライミング体験を実施している。参加者の多くが小学生のため、今年度から第２・第４土曜の午後５時以降に大人限定運用を開始した。令和２年度実施内容は以下のとおり。

【通常運用】

各班４名（全８班）で 30 分間のクライミング体験を実施。定期的な利用者が見受けられた。今年度から登るコースの数を増やし、定期的にコースを変更して、難易度を選択できるようゲーム性を向上させ

た結果、利用者のリピート率の維持・向上、利用者の年齢層が拡大した。

・開催回数　93 回　　・参加数　1,554 名

【大人限定運用】

毎月第２・第４土曜の午後５時以降に満 16 歳以上を対象とした各班４名（全２班）で 30 分間のクライミング体験を実施。

・プレイベント　８月５日、12 日、19 日、26 日（全て（水））　・参加数　20 名

・開催回数　10 回　　・参加数　　28 名

【夏休みクライミング特別運用】

夏休み期間中の平日に、小学生以上を対象とした各班４名（全５班）で 30 分間のクライミング体験を実施。新規利用者、リピーター共に週末と同程度の利用があった。

・開催日　８月 12 日（水）、13 日（木）、18 日（火）　　・参加数　51 名

【冬休みクライミング特別運用】

冬休み期間中に、小学生以上を対象とした各班４名（全６班）で 30 分間のクライミング体験を実施。参加者の多くはリピーターであった。

・開催日　12 月 25 日（金）、１月６日（水）、７日（木）　　・参加数　７名

【春休みクライミング特別運用】

春休み期間中に、小学生以上を対象とした各班４名（全６班）で 30 分間のクライミング体験を実施。

・開催日　３月 25 日（木）、30 日（火）　　・参加数　12 名

【未就学児クライミング体験会】

３月に次年度小学校入学予定の未就学児を対象としたクライミング体験会を実施した。

・開催日　３月６日（土）、13 日（土）　　・参加数　39 名

子ども考古学体験

例年、夏休み期間中の３日間を使い、小学４年生～中学２年生を対象に考古学や文化財への理解と関心を深めるための体験型学習「子ども考古学教室」を実施している。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により小中学校の夏休みが短縮となったため、実施日を 11 月に変更し、企画展「発掘された大野城市の遺跡展」の関連イベントとして開催した。例年３日間を使い考古学のお仕事体験や遺跡見学を行うが、今年度は開催時間を３時間に縮小し、体験に重点を置いた。

日時	内容	参加数
11 月 23 日(月･祝) 13 時～16 時	・考古学についての学習 ・展示見学　企画展「発掘された大野城市の遺跡展」 企画展「大野城市の戦争とくらし」 ・拓本体験	５名 内訳）　５年生２名 ６年生３名

ここふるワークショップ

未就学児から高齢者まで様々な年齢層が自由に参加して楽しめる参加費無料のワークショップを実施。季節や行事など身近なものを題材として、折り紙など簡単な材料を使った工作を主に行っている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館した４、５月実施予定のワークショップの材料を持ち帰り用として市役所の窓口に設置し、市民に配布した。また、それぞれの施設で制作できるよう、保育所や放課後デイサービスの事業所にも配布した。

・開催日時：毎月第１～３週の土日　10 時～16 時（受付は 15 時半まで、材料がなくなり次第終了）
・対　　象：どなたでも、小学３年生以下は保護者の同伴が必要
・総開催日数：58 日間　　・総参加数：2,004 名　　・実施場所：こども体験ギャラリー

【七夕かざりをつくろう！】（６月）

折紙の星やスイカを飾りつけて短冊を制作。
・開催日数：６日
・参 加 数：134 名

【かざぐるまをつくろう！】（７月）

紙皿や紙コップを使ってかざぐるまを制作。
・開催日数：６日
・参 加 数：186 名

【およぐ金魚をつくろう！】（８月）

折紙で作った金魚で金魚鉢を制作。
・開催日数：６日
・参 加 数：175 名

【お月見のうさぎをつくろう！】（９月）

折紙で作ったうさぎを貼ったカードを制作。
・開催日数：６日
・参 加 数：191 名

【ぴょんぴょんかえるを作ろう！】（10 月）

ひっくり返すと跳ねるカエルのおもちゃを制作。
・開催日数：６日
・参 加 数：201 名

【どんぐりリースを作ろう！】（11 月）

どんぐりを使ってリースを制作。
・開催日数：２日
・参 加 数：134 名

【はがきでたこ作りをしよう！】（11 月）

はがきを使って凧を制作。
・開催日数：４日
・参 加 数：129 名

【クリスマスカードをつくろう！】（12 月）

折紙で作ったサンタやツリーを使って、開くと飛び出すクリスマスカードを制作。
・開催日数：６日
・参 加 数：262 名

【節分のお面をつくろう！】（１月）

鬼やおたふくのお面を制作。
・開催日数：４日
・参 加 数：114 名

【ひな人形を作ろう！】（２月）

千代紙を使ってひな人形を制作。
・開催日数：６日
・参 加 数：226 名

【古代のもようをスタンプしよう！】（３月）

古代のもようのスタンプを使ってメッセージカードを制作。
・開催日数：６日
・参 加 数：252 名

ここふる体験工房

地域の歴史や文化に親しみを持ち、展示から得られた理解をより身近に感じてもらうため、幼児から大人まで幅広い年齢を対象に、歴史や文化の要素を取り入れた有料の体験工房を実施している。

・実施日：毎月第４土日　　・総体験工房数：９回（18 日）　　・総参加数：119 名

※場所の記載があるもの以外は講座学習室での実施。

※４月・５月・１月は諸般の事情により中止。

【はにわマグネット作り】（６月）

オーブン粘土を使ってマグネットを制作。

・参 加 費：300 円

・参 加 数：７名

【折り染めうちわ作り】（７月）

和紙染めでうちわを制作。

・参 加 費：200 円

・参 加 数：10 名

【考古学体験】（８月）

須恵器を使った拓本体験と、とった拓本でしおりを制作。

・参 加 費：100 円

・参 加 数：12 名

【和綴じメモ帳作り】（９月）

伝統的な和本の綴じ方でメモ帳を制作。

・講　　師：坂口　篤子氏

・参 加 費：300 円

・参 加 数：９名

【昔のお金・貨布作り】（10 月）

低融点合金を使って貨布を制作し、貨布からとった乾拓でしおりを制作。

・参 加 費：300 円

・参 加 数：12 名

【藍染め体験】（11 月）

藍液を使用してハンカチを染める体験。

・参 加 費：300 円

・参 加 数：16 名

【押し花箸袋作り】（12 月）

押し花を使って箸袋を製作。

・講　　師：釘﨑　節子氏

・参 加 費：300 円

・参 加 数：20 名

【春の和菓子作り】（２月）

桃の節句の和菓子を制作。

・参 加 費：500 円

・参 加 数：24 名

・講　　師：今林　美栄子氏、
　　溝上　忍氏、
　　國廣　亜樹子氏（今林美栄子教室）

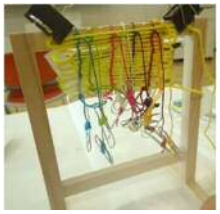
・場　　所：大野城まどかぴあ調理実習室

【アンギン編み体験】（３月）

カラフルな糸を使用して、縄文時代から伝わる「アンギン（編布）」を制作。

・参 加 費：300 円

・参 加 数：９名



3-3　団体利用

10 名以上の団体を対象として、館内や学校、公民館等の館外で利用できる様々な講座や史跡案内を実施している。学芸員及びふるサポの会サポーターによる館内学習や歴史体験講座を館内で行うほか、歴史体験講座などの一部は、館内だけでなく学校の授業や公民館での講演会でも実施可能としている。

また、当館で得た知識と情報を元に歴史やまちの魅力を実体験できるよう、館内の学びのほか、実際の史跡散策など、当館と史跡、大野城トレイルとの連携を図るプログラムを展開している。

館内学習

講座名	内容	利用実績
心のふるさと館見学	館内各展示をガイド付で見学	５団体（198 名）
むかしの暮らし講座	昭和のくらしコーナーをガイド付で見学、道具の体験	－

歴史体験講座

講座名	内容	利用実績
勾玉づくり	滑石を使った勾玉作り	６団体（141 名）
土笛づくり	オーブン粘土を使った土笛作り	１団体（７名）
昔遊びをしよう	けん玉やめんこ、かるた、こまなどの昔遊び	－
ロケットジャンプ	紙コップと輪ゴムを使った飛ばして遊べる簡単工作	２団体（28 名）

※全て館内での実施

史跡散策

講座名	内容	利用実績
団体館外ガイド	水城・大野城跡や大野城トレイル等、現地をガイド付で見学	３団体（267 名）

出張講座

講座名	内容	利用実績
大野城市今昔物語	市内の歴史や発掘調査の成果についての講座	５団体（412 名）
大野城心のふるさと館の紹介	大野城心のふるさと館の紹介や、博物館学芸員についての職業講話	１団体（動画収録）

3-4　まち歩き事業・文化財公開事業

遺跡などへの理解を深めるため、ガイド付きで実際に史跡めぐりを行うまち歩き事業や文化財の公開事業を実施している。

タイトル	開催日時	内容	参加数
水城をあるく	10 月 17 日（土） 13 時半～17 時	国指定特別史跡「水城跡」をめぐりながら解説。通常１日コースだが、半日に変更して実施。	14 名

タイトル	開催日時	内容	参加数
大野城をあるく	11 月 14 日（土） 13 時～16 時	大野城市の市名の由来となっている大野城跡をめぐりながら解説。通常１日コースだが、半日に変更して実施。	14 名
日田街道をゆく	10 月３日（土） ９時半～12 時半	令和２年度に日本遺産『古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～』の範囲が拡大し、日田街道沿いにある御笠の森も構成文化財として認定されたため、御笠の森と日田街道に関係する周辺の文化財をめぐりながら解説。	15 名
梅頭窯跡公開事業	９月 26 日（土） 10 時～12 時	牛頸須恵器窯跡の概要及び梅頭窯跡について解説。	42 名
善一田古墳石室公開事業	９月 27 日（日） 10 時～12 時半	善一田古墳群の概要の説明と 18 号墳石室内の見学。来場者にはクイズラリー用紙を配布し、参加者には善一田古墳群のステッカーを贈呈。	71 名

3-5　講座・講演会

令和２年度に実施した講座・講演会は以下のとおり。　※会場は全て講座学習室。

館長講座

演題	講師	開催日	参加数
日本遺産１	館長　赤司　善彦	10 月 10 日（土）	50 名
日本遺産２		11 月 14 日（土）	51 名

※開催時間は各日 10 時～12 時及び 14 時～16 時。同内容にて２回講演。

考古学講座

演題	講師	開催日時	参加数
市指定史跡善一田古墳群	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課係長　上田龍児	９月 13 日（日） 14 時～16 時	12 名
特別史跡水城跡・大野城跡	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課　徳本洋一	10 月 11 日（日） 14 時～16 時	12 名
県指定文化財 牛頸須恵器窯跡出土ヘラ書き須恵器	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課長　石木秀啓	12 月 13 日（日） 14 時～16 時	８名
国史跡牛頸須恵器窯跡	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課　山元瞭平	１月 31 日（日） 14 時～16 時	９名
市指定文化財「御笠の森」と周辺遺跡	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課係長　林潤也	２月 21 日（日） 14 時～16 時	７名

古文書入門講座

演題	講師	開催期間	参加数
高原（謙）家文書「郡方書留」 高原（康）家文書「倹約作法書」「諸指出控」	長崎大学名誉教授 柴多　一雄氏	８月 27 日(木) ～３月 25 日(木)	25 名

※全 15 回。開催時間は各回 18 時半～20 時半。

日本古典文学講演会

演題	講師	開催日時	参加数
〈うたことば〉を辿る ― 大伴旅人の表現から	福岡女子大学名誉教授 月野　文子氏	３月 11 日（木） 14 時～16 時	24 名

中国古典文学講演会

演題	講師	開催日時	参加数
水をたのしみ、山をたのしむ ―　中国古典の世界	九州大学文学部教授 静永　健氏	２月 11 日（木･祝） 14 時～16 時	24 名
異郷と帰郷－王昭君の故里で詠んだ杜甫と白居易の王昭君詩	九州大学文学部名誉教授 竹村　則行氏	３月５日（金） 14 時～16 時	19 名

文化財講演会

演題	講師	開催日時	参加数
牛頸須恵器窯跡とヘラ書き須恵器	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課長　石木秀啓	３月 14 日(日) 14 時～16 時	23 名
善一田古墳群	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課係長　上田龍児		
御笠の森	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課係長　林潤也		

3-6　ふるさとラボ

大野城市在住だった目加田誠・さくを夫妻から寄贈された蔵書類、並びに市文化財に関する図書等を利用者が自由に閲覧できる開架図書としている（貸出不可、複写可）。壁面には目加田誠・さくを夫妻とその著作物の紹介と、大野城市にゆかりの深い人物４名（明治時代に台湾の米改良に取り組んだ末永仁氏、牛頸用水路を引くために私財を投じた森山庄太氏、江戸時代後期に日本地図を作成した伊能忠敬氏（文化９（1812）年に測量隊員が大野城市内を測量）、証券会社を設立して地元や市に多大な寄付を行った大野城市出身の石井久氏）の解説パネルを設置している。

目加田さくを氏の解説パネルそばの展示ケースには、さくを氏が所蔵されていた浮世絵の複製のうち、

葛飾北斎の「富嶽三十六景」を月に２回換えながら順次展示。また、両先生の業績をわかりやすく解説したパネルを２ヵ月に１回のペースで変更しながら掲示した。

令和２年度入室者数	4,864 名

3-7　研修生等受入

学芸員課程博物館実習

学芸員課程を履修している学生を対象に、博物館の実習受入を行っている。資料の取り扱いや来館者対応、展示実習等を行い、実習成果を「心のふるさと館で見つけた！　実習生おすすめの一品」として、館内でパネル展示を行った。

令和２年度実施期間	学校名	参加数
８月４日（火）～８月 11 日（火）	筑紫女学園大学	３名
	福岡大学	１名

※８月９日（日）を除く。

職場体験

市内中学校の生徒を対象に、ワークショップ準備、警備業務、総合受付業務、団体対応業務、ここふるショップ業務などの職場体験を行っているが、令和２年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止。

インターンシップ

（一社）九州インターンシップ推進協議会に参画し、大学生を対象に、ワークショップ・特別展関連イベントの補助、ここふるショップや総合案内などの体験によるインターンシップを実施している。期間を通して課題について検討し、最終日は館職員に向けて発表を行った。

令和２年度実施期間	学校名	参加数	課題
８月 16 日（日）～８月 30 日（金）	九州産業大学	１名	大野城市を知らない人へ大野城市と大野城心のふるさと館を紹介しよう！

４　催し・施設貸出など

4-1　にぎわいづくり事業

まちの宝である地域で活躍する人など、市の魅力発信とまちのにぎわい創出を目的に、市内の団体や民間事業者等、多様な主体と連携した当館主催のイベントを行っている。

さくら満開、えがお満開

開催日　　令和２年５月 19 日（火）～６月 14 日（日）

内　容　　今春は新型コロナウイルス感染症の影響等により桜の時期に外出することができずお花見等もできない状況だったため、来館者に少しでも春の気分を味わってもらえるよう、館内に設置した土台（木）を来館者が貼る桜の造花で満開にする企画。

Onojo ７(Seven) Treasures　～大野城市が誇る７つの宝を制覇せよ！～

開催日　　令和２年８月１日（土）～11 月 29 日（日）

内　容　　令和２年に大野城跡等が日本遺産の構成文化財として認定を受けたことを記念し、６つの市内日本遺産構成文化財と心のふるさと館を巡るキーワードラリーを開催。参加者にはオリジナルグッズをプレゼントし、大野ジョーグッズ等が当たるダブルチャンス応募を併せて実施。

参加数　　250 名（ダブルチャンス応募者数 216 名）

ここふるハロウィン 2020

開催日　　令和２年 10 月 31 日（土）～11 月１日（日）

内　容　　館内で見つけた３つの飾りをふるさとラボで見せ、「ここふるハロウィン」と呪文を唱えてハット（土台）とリボンを受け取る。ハット（土台）に飾りをつけて、リボンを通すとオリジナルのパーティーハットが完成する。併せて、館内に設置された撮影スポットで撮った写真にハッシュタグ「＃ここふるハロウィン」をつけてＳＮＳに投稿または館の SNS アカウントをフォロー・友だち追加でプレゼントがもらえる写真投稿＆ＳＮＳフォロー企画を実施。

参加数　　パーティーハットをつくろう！：132 名
　　写真投稿＆ＳＮＳフォロー企画：　37 名

大野城ウィンターイルミネーション 2020

開催日　　令和２年 11 月 22 日（日）～12 月 25 日（金）

内　容　　まどかぴあ南側広場でのイルミネーション点灯を中心とした、当館と大野城まどかぴあ、大野城市社会福祉協議会との連携イベント。12 月 6 日（日）は市内を巡るキーワードラリーも合わせて開催され、当館ここふるショップにキーワードが設置された。期間中は、ここふるショップ内がクリスマス一色に！クリスマス限定メニューも提供。

ここふるメリクリ　サンタさんを探そう！

開催日　　令和２年 12 月 15 日（火）～12 月 25 日（金）

内　容　　小学生以下を対象とした、館内に隠れた大小のサンタの人形を探し、サンタの数を当てるイベント。正解者には景品をプレゼント。

参加数　　280 名

ここふるメリクリ　ハイハイレース

開催日　　令和２年 12 月 24 日（木）～12 月 25 日（金）

内　容　　ハイハイできる未歩行の赤ちゃんとその保護者を対象としたハイハイレース。参加者には参加賞として景品をプレゼント。

参加数　　50 名

筑紫中央高等学校書道部による書の展示

開催日　　令和３年１月５日（火）～１月 31 日（日）

内　容　　筑紫中央高等学校書道部制作の新年の「書」（縦 160 ㎝×横 290 ㎝）を展示。

2021 ここふる年賀状展

開催日　　令和３年１月５日（火）～１月 31 日（日）

内　容　　新年に向けての抱負や願いなどを書いて館に送付または館内ポストに投函された年賀状の展示。

参加数　　64 名（年賀状展示数）

来館 20 万人達成セレモニー

開催日　　令和３年１月 16 日（土）

内　容　　平成 30 年７月 21 日の開館後、来館者 20 万人達成の感謝を込めた記念セレモニーを開催。20 万人目の来館者には認定証と記念品を贈呈した。

ここふるバレンタインデー2021「“愛”のクイズに挑戦！」

開催日　　令和３年２月６日（土）～２月 14 日（日）

内　容　　館内各所に設置した“愛”にまつわるクイズを解くイベント。正解者には景品をプレゼント。併せて、館内に設置された撮影スポットで撮った写真にハッシュタグ「＃ここふるバレンタイン 2021」をつけてＳＮＳに投稿または館の SNS アカウントをフォロー・友だち追加でプレゼントがもらえる写真投稿＆ＳＮＳフォロー企画を実施。

参加数　　“愛”のクイズに挑戦！：223 名

　　写真投稿＆ＳＮＳフォロー企画：６名

ここふるオレンジカフェ

開催日　　令和３年２月 22 日（月）・３月 22 日（月）

内　容　　休館日のここふるショップを利用したオレンジカフェ（認知症カフェ）。参加者にはここふるショップのドリンク１杯を提供。回想法によるＤＶＤ上映を実施した。令和３年度からは、市すこやか長寿課の事業として毎月１回実施する。

参加費　　100 円

参加数　　11 名

4-2　つながる事業

当館のキーワードである「歴史」「こども」「にぎわい」を基に、世代を超えた交流の展開のため、多様な主体の参画による運営を目的とした、つながる事業を実施している。一定の要件を満たした個人や団体等から非営利を目的とした公益性の高い事業を募り、市と共働で事業を行うことで、新たなまちのにぎわいや人の交流の創出を図っている。　　※（◎）は昨年度から引き続き実施したもの。

チャリティーアートコレクション展

期　間　　令和２年６月 26 日（金）～６月 28 日（日）

内　容　　自閉の画家 太田宏介氏やダウン症の書家 金澤翔子氏の作品などの展示販売。太田氏によるライブペイント、かじやま奈美氏（想い絵 Yosuga）による似顔絵コーナーを実施。

水城跡のあかり展（◎）

期　間　　令和２年８月 18 日（火）～８月 23 日（日）

内　容　　1350 年以上前に整備され、現在もその姿をとどめている特別史跡「水城跡」。地域の人々が長年受け継いできた水城跡への想いを伝え、こども

たちが将来まちの宝である水城跡を守り伝えていくことを願って紙灯明を設置する「水城跡のあかり」も、令和２年度は新型コロナウィルスの影響により開催中止となった。現地開催は中止となっても、想いを繋いでいくため、水城跡のあかり実行委員会主催による令和元年度「水城跡のあかり」の写真展示と紙灯明への絵描き体験ワークショップを開催し、「水城跡のあかり」のＰＲを行った。

科学の学校

開催日　　全３回〔令和２年 11 月 21 日（土）、令和３年１月 10 日（日）、３月 21 日（日）〕

内　容　　市内のボランティア団体「スペースドリーム大野城」と共働で、宇宙教育を通じて子ども達に夢をもってもらうことを目的とした科学の学校〔親子で取り組むスクーリング（工作と実験）〕を開催。

チョークアート５人展

期　間　　令和２年 12 月 15 日（火）～20 日（日）

内　容　　山口ようこ氏（Paint studio ぷみら）、伊藤郁子氏（Shoka）、武井季織氏（デザインスタジオ卑弥呼）、中村美幸氏（＋49）、知識由美子氏（Handmade Studio Maple Leaf）の５人による、クリスマス気分を盛り上げるカラフルなチョークアートの作品を展示。期間中の土日には、クリスマスに飾るチョークアートの制作を行うワークショップを開催。

おおのじょうふるさと作家アート展　－アマビエで元気いっぱいに！－

期　間　　令和２年 12 月 22 日（火）～12 月 27 日（日）

内　容　　「子どもの絵と工作の教室　にじいろキッズアート」の生徒たちが元気いっぱいに描いた、疫病退散のご利益があると言われているアマビエの絵を展示。期間中の土日には、オリジナル年賀状制作のワークショップを開催。

はじめての博多人形展

期　間　　令和３年３月２日（火）～３月 28 日（日）

内　容　　田中勇気博多人形工房による博多人形の展示。３月 14 日（日）には、素焼きの博多人形の絵付け体験のワークショップを開催。

おおのじょうふるさと作家アート展　－華麗なるレース切り絵＆ボトルフラワーの世界－

期　間　　令和３年３月 23 日（火）～３月 28 日（日）

内　容　　浅海知代氏（蒼山日菜レース切り絵初級認定講師）によるハサミ１本で切り出される繊細なペーパ

ーアート「レース切り絵」と、長友聡子氏（日本ボトルフラワー協会認定インストラクター）による生花を形も色もそのまま残せる新しいドライフラワー「ボトルフラワー」の展示。ワークショップとして、３月 23 日（火）・28 日（日）には「ハサミで切る蝶々のレース切り絵」、３月 25 日（木）・27 日（土）には「ミニワイングラスのボトルフラワー」を開催。

コワーキングスペース「ままいるーむ」　（◎）

開催日　全 11 回〔令和２年６月 30 日（火）、７月 28 日（火）、８月 16 日（日）、28 日（金）、９月 15 日（火）、10 月 18 日（金）、11 月 10 日（火）、12 月 15 日（火）、令和３年１月 30 日（土）〕

内　容　子育て支援団体「ままいる」による、家庭などで保育をする人達のための育児と仕事の両立支援等を目的としたコワーキングスペースの提供。保育をする人の居場所作りとして定期的に開催しており、ワークショップや講座も実施している。

4-3　活用事業

大野城市役所の各部署等によるイベントや展示等を当館と共働で行う活用事業を行っている。

令和２年度に活用事業として当館で実施された展示、イベントは下記のとおり。活用事業による講座学習室の貸出については、4-4 施設貸出にて後述する。

大野ジョーくんとあそぼ

開催日　全７回〔令和２年７月 18 日（土）、８月 22 日（土）、９月 19 日（土）、10 月 17 日（土）、11 月 21 日（土）、12 月 19 日（土）、令和３年３月 20 日（土）〕

内　容　市のキャラクターである大野ジョーとまどかちゃんとのダンスや記念撮影などのイベント。

担当課　ふるさとにぎわい課

つなごう！おおの山城大文字まつり

期　間　令和２年９月 15 日（火）～27 日（日）

内　容　中止となったおおの山城大文字まつりの代替イベント。昭和 57 年に幕を開けたおおの山城大文字まつりの歴史を当時の資料とともに紹介。歴代の大文字タオルの展示やダイナビジョンでは過去のまつりの様子などの貴重映像を放映。

担当課　ふるさとにぎわい課

大野ジョー10 周年記念ロゴデザイン募集イラスト展示会

期　間　令和２年 10 月６日（火）～25 日（日）

内　容　大野ジョーデビュー10 周年記念ロゴデザイン募集の応募作品及び入選作品の展示。

担当課　ふるさとにぎわい課

ふるさと館を探検しよう！ここふるラリー　／　めざせ 100 点！おまつりあそび

開催日　　令和２年 11 月８日（日）

内　容　　中止となったまどかフェスティバルの代替イベント。小学生以下を対象に、館内に隠された「色」を探すここふるラリーと、ここふるラリーをクリアした人を対象にした魚釣り、ボウリング、わなげの中から２種類を選べるおまつりあそび、バルーンアートの配布。

担当課　　こども未来課

大野ジョー10 周年記念ロゴデザイン募集イラスト展示会

期　間　　令和２年 10 月６日（火）～25 日（日）

内　容　　大野ジョーデビュー10 周年記念ロゴデザイン募集の応募作品及び入選作品の展示。

担当課　　ふるさとにぎわい課

ペットボトルキャップベア

期　間　　令和２年 11 月３日（火・祝）～29 日（日）

内　容　　ワクチン 100 人分の寄付を目標とした、全長約２ｍのペットボトルキャップベアの設置。市役所、当館、まどかぴあの３ヵ所で約１ヵ月ずつ順に設置した。集まったペットボトルキャップはイオングループを通じて認定 NPO 法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付された。

担当課　　福祉課

赤い羽根共同募金運動

期　間　　令和２年 11 月 10 日（火）～12 月 27 日（日）

内　容　　赤い羽根共同募金運動啓発のためのパネル展示。ポケットティッシュやチラシ、紙製の貯金箱キットの配布。総合案内への募金箱設置。

担当課　　福祉課

団纏寄贈記念企画「こんにちは！大野城市消防団です！」

期　間　　令和２年 12 月１日（火）～12 月 11 日（日）

内　容　　市民から大野城市消防団に団纏が寄贈されたことを記念した、纏及び大野城市消防団の歴史や活動についての展示。

担当課　　安全安心課

令和３年大野城市新成人のつどい

開催日　　令和３年１月 11 日（月・祝）

内　容　　まどかぴあにて開催する大野城市新成人のつどいの保護者席をジョーホールと講座学習室に設け、式典のライブ配信を行った。通常は館内飲食禁止だが、当日限定でここふるショップのドリンクをふた付きカップにて販売し、ライブ配信会場への持込を可とした。

担当課　　こども未来課

Hope Light Our Way/希望の道を、つなごう。

開催日　　令和３年１月５日（火）～２月 13 日（土）

内　容　　東京 2020 オリンピック聖火展示の関連事業として実施。大野城コレクションにて聖火リレーの意義や市出身アスリートの紹介などのパネル展を実施。また、ジョーホールにトレッドミルを設置し、走った距離の合計で 877km 離れたオリンピックスタジアムを目指すコーナーと東京 2020 オリンピック公式ライセンスゲームがプレイステーション４で体験できるコーナーを設置した。

担当課　　スポーツ課

4-4　施設貸出

一般利用者向けに講座学習室及び大野城コレクションの有料貸出を行っている。また、館の活用促進のため、大野城市役所の各部署や市立小・中学校の事業を館内で実施する活用事業や様々な団体と共催するつながる事業による貸出も行っている。

令和２年度 年間実績	講座学習室		大野城コレクション		
	一般貸出	活用事業	一般貸出	活用事業	つながる事業
申込件数	15 件	127 件	なし	１件（35 日）	１件（24 日）
使用料収入	34,630 円	－	－	－	－

4-5　ここふるショップ

心のふるさと館オリジナルグッズ、大野城市特産品・推奨品、大野ジョーグッズ、まどかちゃんグッズ、被災地（東北地方、熊本県）特産品・名産品、市内福祉団体商品等を販売するミュージアムショップと、大野城市のソウルフードである「大野城鶏ぼっかけ」や市内の参画団体によるランチを提供するカフェ、ハンドメイド商品の委託販売ができるチャレンジスペースブースを併設している。

店内にて販売している被災地特産品・名産品の収益を各被災地へ義援金として送付する被災地支援事業を実施している。

開店日・時間

心のふるさと館開館日の 10 時～18 時

カフェ　ランチタイム 11 時半～14 時半　　オーダーストップ　17 時半

２団体にて日替わりランチメニューを提供。令和２年度参画団体は下記のとおり。

ＳＢＹスイミング、カフェヒュッテ（順不同）

限定メニュー

企画展・特別展やイベントと連携した限定メニューを提供している。

令和２年度提供の限定メニューは下記のとおり。

イベント	メニュー	説明	金額
つなごう！ おおの山城大文字まつり	ベリーソーダ	暑さの残る９月にぴったりで、四王寺山に浮かぶ「大」文字の火（灯り）をイメージした真っ赤なドリンク。	230 円
企画展 発掘された大野城市の遺跡展	古墳 アイスクリーム	アイスクリームの下に、副葬品をイメージしたお菓子を隠した、発掘体験ができるアイスクリーム。	250 円
ここふるメリクリ	ベリーワッフル	クリスマスカラーの赤いベリーをちりばめた甘酸っぱいワッフル。	300 円 (DS400 円)
	レモネード	寒い冬にぴったりの温かいドリンク。	170 円
特別展 スーパークローン文化財展 アジアの美にふれる	飲茶セット	特別展のテーマ「アジア」を感じる中国茶と点心のセット。点心はミニ点心と豚まんから選択。	各 330 円

※DS･･･ドリンクセット

チャレンジスペースブース

ショップ内に設置しているアクリルボックスに手作り商品や作品を自由にレイアウトして展示・販売活動ができる。１回あたりの貸出期間は３ヵ月。令和２年度第１期までは手数料として、登録手数料及び売上金の 10%を設定していたが、第２期からはＡ規格は売上金の 20%、Ｂ規格は売上金の 25%のみに変更したことで、利用者数が大幅に向上した。

令和２年度貸出実績	利用者数	出店期間（全４期）
Ａ（縦 34.4cm×横 29.4cm×奥行 27cm）	37 名	４月 18 日～７月 17 日、７月 18 日～10 月９日 10 月 10 日～１月７日、１月８日～３月 31 日
Ｂ（縦 34.4cm×横 59.4cm×奥行 27cm）	41 名	

被災地支援事業

被災地からの特産品の仕入により、被災地の事業者を応援するとともに、被災地支援商品の販売収益を義援金として東日本大震災等の被災地へ寄付する二重の支援活動を行っている。

令和２年度実施事業

事業名	説明	期間
岩手県復興ポスター展	東日本大震災から 10 年を迎えるにあたり、岩手県制作の「復興ポスター」を１階ジョーホールで展示。	３月９日(火) ～3 月 21 日(日)
被災地応援フェア	被災地応援商品を 500 円(税込)以上購入ごとに東北地方の雑貨や東北地方・熊本県のお菓子が当たる抽選会（くじ引き）を実施。	

令和２年度義援金

送金額	内訳	
674,558 円	東北地方	490,676 円
	熊本県	183,882 円

4-6　オリジナルグッズ

館のオリジナルグッズを製作し、ここふるショップで販売している。
令和２年度に新たに製作したオリジナルグッズは以下のとおり。

商品名	販売価格	説明
マスク	350 円	市の文化財やＰＲキャラクター・大野ジョーをモチーフにしたオリジナルデザインのマスク。大野城（紺・赤・青・緑の４種）、人面墨書土器（えんじ・青の２種）、大野ジョーデザイン（大小の２種）。
日本遺産手ぬぐい	500 円	「古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～」の日本遺産認定を記念して製作した手ぬぐい。
ここふる勾玉キット	300 円	石を紙やすりで削って自分で勾玉ネックレスを製作できる、紐とビーズ入りのキット。ビーズなしのキットは 100 円引きで販売。
一筆箋	330 円	大野城市教育委員会蔵の文化財をデザインした一筆箋。玉類・三累環頭大刀柄頭、貨布、軒丸瓦（７世紀）の３種。
絆創膏	170 円	牛頸本堂遺跡第７次調査出土の厄払いを意味する呪符木簡をイメージして、「早く治るように」の願いを込めた絆創膏。木目調の縦型とカラーの横型の２種。
ミニタオル	400 円	人面墨書土器のイラストを刺繍したオリジナル抗菌ミニタオル。青と白の２種。
エコバッグ	550 円	大野城市の文化財をイメージしたオリジナルデザインのエコバッグ。赤とベージュの２種。
マスクケース	250 円	大野城市の文化財をイメージしたオリジナルデザインのマスクケース。黒と白の２種。
クリアファイル	180 円	大野城市教育委員会蔵の善一田古墳群出土文化財の写真を使用したクリアファイル。玉類・鉄鉗・三累環頭大刀柄頭・耳輪と須恵器・土師器の２種。

５　他機関との連携・交流

5-1　大韓民国国立公州大学校博物館学術文化交流協定

平成 30 年度実施の第２回特別展「再々発見！古代山城と水城・大野城」での国立公州大学校博物館所有の文化財借用を契機として、両館の学術文化交流の推進を目的とした協定（平成 30 年 10 月 10 日から５年間）を締結。本協定に基づいて、調査研究、収集、保存、展示、活用等に関して、両館の研究者や職員等の交流、情報交換を目的とした「公州大学校博物館連携事業」を令和２年度から４年計画で実施。令和２年度の連携事業の成果公開として、パネル展示及び公州大学校博物館とリモートでつないだ日韓の古代山城に関する最新の調査研究成果の報告と意見交換を行う市民報告会を行った。

大韓民国公州大学校連携事業パネル展

会　　期　　令和３年２月 16 日（火）～３月７日（日）
内　　容　　公州大学校博物館連携事業の内容と公州大学校博物館の紹介パネル掲示及び関連品の展示、関連映像の放映を行った。
展 示 物　　パネル９枚、関連品（協定書及び記念品、報告書類、参考資料）３件

日韓古代山城調査研究報告会

日　　時　　令和３年２月 28 日（日）　14 時～17 時
会　　場　　講座学習室
内　　容　　調査成果報告、最新調査研究事例報告、報告者によるパネルディスカッション、質疑応答
参 加 数　　39 名（一般参加者 24 名、オンライン参加の関係者 15 名）

■近年の古代山城、羅城関係の調査成果

調査成果報告	報告者
韓国公山城調査研究報告	公州大学校博物館　学芸研究室長　李　賢淑氏
水城調査研究報告	大野城市教育委員会 ふるさと文化財課　係長　上田　龍児

■近年の古代山城、羅城関係の調査成果

最新調査研究事例報告	報告者
韓国古代山城（全北　長水　砧嶺山城）	公州大学校博物館　館長　徐　程錫氏
日本古代山城（古代の烽）	大野城心のふるさと館　館長　赤司　善彦

5-2　視察等受入

令和２年度に受入した視察は以下のとおり。

視察日	受入団体	人数
８月 21 日（金）	佐賀市	６名
12 月３日（木）	宗像市	６名

６　市民・地域との連携

6-1　ふるサポの会

当館は市民をはじめとした多様な主体が参画する運営を基本としているため、その一環として、16 歳以上の市民等によるサポーター制度「ふるサポの会」を導入しており、サポーターが展示解説やワークショップ・事業運営・ここふるショップ＆カフェの支援を行っている。サポーター活動を行う上で必要な入門研修や特別展・館外ガイドなどに特化したスキルアップ研修を定期的に実施するほか、サポーターがそれぞれ有する様々な知識・経験を活かした活躍の場を広げるための環境整備を進めている。

会員数 （令和３年３月 31 日現在）	サポーター活動回数（年間）	
	のべ活動回数	開館日数
83 名	1,211	264

サポーター研修		
No.	研修内容	実施回数
1	入門研修	3
2	スキルアップ研修（館内ガイド）	2
3	スキルアップ研修（企画展「発掘された大野城市の遺跡展」）	4
4	スキルアップ研修（特別展「東京藝術大学スーパークローン文化財展」）	3
5	スキルアップ研修（館外ガイド：水城跡、大野城跡）	5
6	スキルアップ研修（学校対応）	2

6-2　ここふる友の会

来館の促しを目的に、心のふるさと館に関する情報提供などを行う友の会を発足している。

会員数：1,531 名（令和３年３月 31 日時点）うち、令和２年度新規入会者数　105 名
入会費：200 円（年会費なし、有効期限なし）

特典	・会員カードの交付（利用や活動に応じてスタンプを貯め、スタンプ数に応じてここふるカフェのドリンク割引券やオリジナルグッズと交換できる） ・イベント等の事業情報のメール配信 ・特別展内覧会の案内 ・特別展観覧の友の会料金適用

友の会会員カード　　（表）

（裏）

6-3　山城楽講

市の史跡案内ボランティアを養成し、イベント等で活動を行っている。通常では年間 11 回の定例会のほか、講座の受講、研修等を実施しているが、令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止や延期が相次ぎ、年間８回の定例会を実施した。令和元年 10 月からは４期生の養成研修を開始し、令和３年３月 19 日（金）に 11 名が研修を修了した。

会員数：31 名（令和３年３月 31 日時点）

活動イベント	実施日	内容	活動人数
水城をあるく	10 月 17 日（土）	国指定特別史跡「水城跡」をめぐりながら解説。通常１日コースだが、半日に変更して実施。	２名
大野城跡（四王寺山）ウォーキング	10 月 24 日（土）	福岡県立四王寺県民の森主催で大野城跡を３コースに分かれて史跡見学。祈りの地と博多湾を望む絶景コースを案内。	１名
大野城をあるく	11 月 14 日（土）	大野城市の市名の由来となっている大野城跡をめぐりながら解説。通常１日コースだが、半日に変更して実施。	１名

定例会・養成研修等	実施日等	内容	活動人数
定例会	年間７回	ふるさと文化財職員による講話、企画展・特別展のギャラリートーク等	106 名
現地研修会	11 月 25 日（水）	春日市奴国の丘歴史資料館および周辺遺跡の見学	13 名
４期生研修	６月 19 日（金）	水城跡での実地訓練（西門跡など）	11 名
	７月 17 日（金）	講話「祝！日本遺産広域型認定」	10 名
	８月 21 日（金）	講話「朝鮮式山城と神籠石系山城」	10 名
	９月 25 日（金）	大野城跡での実地訓練（太宰府口城門など）	11 名
	10 月 16 日（金）	水城跡での実地訓練（西門跡など）	11 名
	10 月 23 日（金）	大野城跡での実地研修（クロガネ岩城門など）	11 名
	11 月 20 日（金）	水城跡での実地研修（上大利小水城など）	11 名
	11 月 27 日（金）	大野城跡での実地研修（村上礎石群など）	11 名
	12 月 18 日（金）	講話「大野城市内の指定文化財」	11 名
	１月 15 日（金）	牛頸須恵器窯跡での実地研修（梅頭窯跡など）	９名
	２月 19 日（金）	善一田古墳群の講話と実地研修	11 名
	３月 19 日（金）	山城楽講４期生認定書授与式	11 名

※４期生研修は、上記のほか、昨年度に開講式含め５回の研修を実施している。

7　情報発信・広報

7-1　情報発信・広報ツールの活用

公式ウェブサイト

http://www.onojo-occm.jp/

ＳＮＳ

フォロワー数 （令和３年３月 31 日時点）	LINE	Instagram	Twitter	Facebook
	362	622	522	431

大野城ダイナビジョン

館内に設置している大画面モニター。通常利用のほか、イベントでの映像放映等を行っている。

通常利用	内容
スライドショー	「大野城の歴史」市の歴史に関する情報
	「観光とまち歩き」市の特産品などの地域資源、トレイルコースの情報
	「大野城 NOW」市の公共施設や団体の紹介
	「ここふるニュース」当館で開催される特別展やイベントに関する情報
ゲーム	「with ジョー」動感センサーと連動したタッチゲーム
	固定カメラと連動した全５問のクイズゲーム
	大野ジョーのアニメーションと動感センサーが連動したダンスゲーム
ＣＭ動画	市の特産品・推奨品や地域資源の紹介、特別展やイベントなどの紹介

おうちミュージアム

新型コロナウイルス感染症の影響による休館等が続く中、北海道博物館が「学校がはじまるまでのあいだ、おうちでミュージアムをたのしもう」という趣旨ではじめた「おうちミュージアム」に当館も賛同。公式ウェブサイトでおうちでも「学べる」「遊べる」コンテンツを提供した。

コンテンツ	内容
ここふるぬりえにチャレンジ！	大野城市 PR キャラクター大野ジョーなどのぬりえを提供
ドキ！ドキ！ 土器＆土偶フィギュアづくり	ねんどを使った土器や土偶のフィギュアづくりを紹介
ドキ！ドキ！ 土器ランプシェードづくり	ねんどを使った土器風のランプシェードづくりを紹介
おり紙でお花づくり	折紙でつくるお花の紹介とメッセージカードを提供
竹とんぼづくり	牛乳パックとストローでつくる竹とんぼの作り方を提供
ここふるショップの店員さんになろう！	紙で作るエプロンとぼうしを提供
こいのぼりをつくろう！	折紙でつくるこいのぼりの作り方を提供
まちがいさがしにチャレンジ！	当館オリジナルのまちがいさがしを提供

コンテンツ	内容
人面墨書土器のお面をつくろう！	人面墨書土器のお面の台紙を提供
貨布しおりをつくろう！	貨布をモチーフにしたしおりの台紙を提供
馬具パズルに挑戦！	馬を飾る馬具パズルを提供
甲冑をつくろう！	立体的な甲冑が作成できる台紙を提供
学芸員チャレンジ！ 資料収集記録簿をつくろう	おうちでできる学芸員の仕事体験を提供

ここふる学校

当館のスタッフがそれぞれの知識・経験を活かして様々な授業を公式ウェブサイト上で発信。

授業内容	
大野城市　地名のはじまり探検隊	郷土の誇る偉人
おうちでできる　簡単エクササイズ	尾花礎石群まで走ってみた
おうちでかんたん♪れきしクッキング	かい「こ」育て日記
せつびたちのお仕事～心のふるさと館編～	시작하자"한국어"〔はじめてみよう！韓国語〕
展示室のなぜ？	大野城心のふるさと館の映えスポット！
歴史教科書クイズ	疫病退散講座

7-2　発行物

機関紙「ここふるニュース」

年間３回発行。市広報紙に折込み配布を行っている。

発行日	版	主な内容	発行部数	広報折込部数
８月１日	vol. 7	企画展「発掘された大野城市の遺跡展」 企画展「大野城市の戦争とくらし」	47,500 部	45,300 部
12 月１日	vol. 8	特別展「東京藝術大学スーパークローン文化財展 アジアの美にふれる－法隆寺・高句麗・敦煌」	47,500 部	45,500 部
３月１日	vol. 9	特別展「歴史教科書でみる考古名品」	47,500 部	46,000 部

大野城市の文化財

発行日	題名	発行部数
３月 31 日	『大野城市の戦争とくらし』 大野城市の文化財第 51 集	1,000 部

８　資料収集・貸出

8-1　資料の収集

令和２年度の寄贈資料は以下のとおり。

資料名	内容	点数	寄贈者
てみ	米・麦などをふるって選別するのに使用していた竹製のてみ	１点	個人
屠蘇器一式	正月に使用する漆塗りの屠蘇器一式と張子の鏡餅飾り	１式	個人
もろ蓋	正月用についた鏡餅・丸餅を入れる箱	２点	個人
碁盤・碁石	昭和 30 年代に使用した囲碁の碁盤と碁石	１式	個人
水枕	昭和 50 年代に購入したもの。製造元はオガタ護謨株式会社。	１点	筒井保育所
アメリカ教材地図	米軍板付基地（春日原住宅地区）の学校で使用されていたもの。縦 230 ㎝×横 160 ㎝、吊り下げロール式。	１点	個人

令和２年度の寄贈図書は以下のとおり。

資料名	内容	点数	寄贈者
染織美術関連図書	博多織のデザインの参考等に使用されていた図書	391 点	企業

8-2　資料の貸出

令和２年度に行った資料貸出は以下のとおり。

出土遺物

資料名	点数	貸出先	使用目的
牛頸窯跡群出土須恵器	27 点	九州歴史資料館	九州歴史資料館展示室での展示
牛頸日ノ浦遺跡群出土須恵器	２点		
塚原遺跡群出土須恵器	１点		
人面墨書土器	３点	九州国立博物館	特集展示「筑紫の神と仏」での展示
陶製碍子	２点	九州歴史資料館	「出土品から見た『福岡県の戦争遺跡』」での展示
機械工具	２点		
木製部材	１点		
金属板	１点		
線香立	１点		
土師器皿	１点		
磁器杯	１点		
土人形（航空兵）	１点		
土人形（士官）	１点		

目加田家寄贈資料

資料名	点数	貸出先	使用目的
目加田誠研究ノート（満州旅行記）	１冊	個人	論文掲載
目加田誠研究ノート（支那旅行日誌）	１冊	個人	論文掲載
目加田誠支那旅行日誌（北支）	１冊	個人	論文掲載
目加田誠北京大学講義プリント	１式	個人	論文掲載
目加田誠氏の顔写真	１枚	読売新聞西部本社 岩国支局長	新聞紙掲載
福岡女子大学文学部国文学科 第三回卒業アルバム内の寮関係写真	４点	福岡女子大学 百年史編纂室	企画展展示

画像資料

資料名	点数	貸出先	使用目的
国史跡牛頸須恵器窯跡 （梅頭窯跡）	１点	福岡県教育庁 教育総務部 文化財保護課	福岡県庁ＨＰに掲載 （日本遺産「古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～」広域型認定について紹介）
牛頸須恵器窯跡出土須恵器	１点		
牛頸須恵器窯跡ヘラ書き須恵器	１点		
市史跡　善一田古墳群	１点		
牛頸須恵器窯跡出土須恵器	１点		日本遺産「古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～」を紹介するパネル・ポスター・映像への使用
牛頸須恵器窯跡出土 ヘラ書き須恵器	１点		
大野城跡・水城跡（空撮）	１点		
木造聖観音立像	１点		福岡県庁ＨＰへの掲載
牛頸須恵器窯跡出土 ヘラ書き須恵器	１点		
古野遺跡第３次調査防空壕全景	２点	九州歴史資料館	企画展「出土品から見た『福岡県の戦争遺跡』」で使用
王城山遺跡第２次調査防空壕全景	１点		
水城西門口（旧官道）	１点	個人	冊子「おおりの郷」掲載
「国鉄水城駅」から見た水城跡	１点		
水城外濠想定図	１点		
谷川遺跡発掘調査時の様子 （A 地区・B 地区）	１点		
起点（筑紫野市入船町）鷺田川・高尾川合流地点	１点		
吉松から続く掘割の水路	１点		
鉄道下を新川が流れていた	１点		
御所池の鯉釣り	１点		

資料名	点数	貸出先	使用目的
水城跡（遠景）	１点	㈱ベネッセ コーポレーション	2021 年度 Challenge 社会４月号掲載
昭和 49 年頃の新川	１点	ケーブル ステーション福岡	コミュニティチャンネル 2755（つな Go!!Go!!）内で使用
昭和 50 年頃の新川	１点		
平成３年頃の新川緑地	１点		
筒井の井戸の発掘調査 （昭和４５年）	１点		
昭和 50 年頃の上大利小水城跡	１点		
大野城跡（空撮）	１点	飯塚市教育委員会	令和２年度飯塚市歴史資料館企画展「謎の古代遺跡　鹿毛馬神籠石展」での使用
大野城跡・水城跡（空撮）	１点		
パネル　あつまれ!!古代山城 （古代山城サミット展示）	31 点		
牛頸須恵器窯跡出土須恵器	１点	（一財） 西日本文化協会	『西日本文化』497 号掲載
仲島遺跡出土人面墨書土器	１点	個人	機関紙への掲載
版築の作業風景（イラスト）	１点	個人	建築機械施工協会機関紙『建設機械施工』令和３年１月号掲載
大野城跡・水城跡（空撮）	１点	㈱山川出版社	文部科学省検定教科書高等学校地理歴史科日本史探究への掲載
大野城跡・水城跡（空撮）	１点	明治図書出版㈱	中学１年生対象教材『社会の学習歴史１』への掲載
大野城跡・水城跡（空撮）	１点	実教出版㈱	高等学校用検定教科書『日本史探究』への掲載
移動式竈	１点	㈱第一学習社	文部科学省検定高等学校地理歴史科教科書『日本史探究』への掲載
大野城跡（空撮）	１点		
大野城跡・水城跡（空撮）	１点		

９　文化財調査・整備

9-1　文化財の調査

令和２年度の実施調査は以下のとおり。

調査名	所在地	期間	調査面積	調査成果等
松葉園遺跡 第５次調査	川久保 ３丁目	４月 22 日 ～５月 21 日	200 ㎡	弥生、中世、近世の遺構を確認。江戸時代中村の一部に当たるとみられる。
後原遺跡 第 25 次調査	白木原 １丁目	５月 22 日 ～８月 18 日	776 ㎡	土坑、溝、ピット等を確認。近世白木原村の区画溝や米軍板付基地春日原住宅地区に伴う遺構の可能性が考えられる。
上園遺跡 第 16 次調査	上大利 ４丁目	６月 10 日 ～10 月 30 日	1,356 ㎡	平安後期の溝やピットを確認。方形にめぐる大溝は、屋敷地等を区画する溝とみられる。
石勺遺跡 P 地点調査	瓦田 ５丁目	９月 28 日 ～11 月６日	90 ㎡	弥生中期のピットや土坑を確認。集落の一部にあたると考えられる。
上唐山遺跡 第１次調査	大字 乙金	１月６日 ～３月 31 日	1,000 ㎡	６世紀末～７世紀前半の円墳を３基確認。うち１基は、単室両袖式の横穴式石室で、須恵器や耳環、鉄鏃が出土した。

令和２年度発行の文化財調査報告書は以下のとおり。

発行日	題名	発行日	題名
３月 31 日	第 182 集　高原（康）家文書概要調査報告書	３月 31 日	第 186 集　史跡牛頸須恵器窯跡１
			第 187 集　上園遺跡８
	第 183 集　大道端遺跡１		第 188 集　乙金窯跡・東浦窯跡群・大谷窯跡群
	第 184 集　谷蟹遺跡群２		第 189 集　薬師の森遺跡５
	第 185 集　森園遺跡５・天神田遺跡２・御笠の森遺跡８		第 190 集　御供田遺跡５
			第 191 集　雑餉隈遺跡２

令和２年度の資料調査の受け入れは以下のとおり。

受入日	対象資料	依頼者
９月 28 日 ～30 日	小田浦窯跡群 40－Ⅰ号窯跡出土須恵器 小田浦窯跡群 50－Ⅰ号窯跡出土須恵器	１名
12 月７日	御供田１号墳出土玉類、原口１号墳出土玉類、薬師の森遺跡 21 次 ST01・03 出土玉類、王城山Ｂ２号墳玉類、古野２号墳出土玉類 善一田２次１号墳・２号墳出土玉類 古野第４次３・８・10・13・30 号墳出土玉類 善一田４次１・12・18・25・25 号墳出土玉類	１名

受入日	対象資料	依頼者
３月３日	上大利区画整理事業にともなう試掘調査フィルム・日誌	１名

令和２年度のその他調査・照会等

試掘調査	埋蔵文化財照会	遺物保存処理
55 件	1,193 件	牛頸梅頭窯跡第１次調査１号窯出土象嵌鉄刀　１点

9-2　文化財の指定

指定文化財の変更

市指定史跡である善一田古墳群が、福岡県指定史跡として指定された。同古墳群は、当時の社会動態や被葬者の階層性を知る上で極めて重要な文化財である。なお県指定史跡に指定されたため、大野城市文化財保護条例第 32 条第２項に基づき、市指定を解除した。

また、県指定無形文化財「博多独楽」については、技術保持者が市外に転居となった。

これにより、市内所在の県指定文化財は５件（±０件）、市指定文化財は 16 件（－１件）となった。

指定日	種別	名称	所在	所有者
（県指定） ３月 26 日	史跡	善一田古墳群	大野城市乙金東１丁目 1345～1348	大野城市

9-3　文化財の公有化

水城跡公有化

令和２年度は、水城跡の５筆（合計 1,849.04 ㎡）の公有化を行った。

公有化地番	地目	面積
大野城市下大利４丁目 653、655、691-7、691-13、691-15	畑・宅地	1,849.04 ㎡
合　計		1,849.04 ㎡

9-4　文化財の整備

令和２年度に行った史跡整備関連事業は以下のとおり。

事業	内容
市内遺跡解説看板設置事業	市指定天然記念物「センダンの木」の解説看板を再設置した。板面の製作にあたっては、大野小学校６年児童の協力を得た。

10　施設管理

10-1　ＩＰＭ管理

心のふるさと館文化財環境対策会議を設置し、館内のＩＰＭ管理について毎月検討を行っている。

令和２年度取組	内容
温湿度管理	データロガーの設置による展示ケース等の温湿度情報の継続計測
特別収蔵庫及び展示ケース内の環境管理	定期的な温湿度計測及び害虫調査、パッシブインジケーターを使用したケース内の有機酸及びアンモニアの濃度計測、特別収蔵庫の定期的な清掃、特別展開催後の展示ケースの清掃
燻蒸	使用薬剤：エキヒュームＳ 収蔵民俗資料：10 月 12 日（月）、17 日（土）～20 日（火） 寄贈図書：３月 19 日（金）～23 日（火）
保存環境調査	令和３年度春特別展に向けた国指定文化財の借用公開に係る保存環境調査を実施。調査結果について、国立文化財機構及び東京国立博物館から助言を受けた。
害虫トラップ調査等	館内 70 か所（10 月以降 71 か所）に害虫トラップを設置、毎月１回計測。その他、侵入した害虫等を捕獲・記録し、必要に応じて対応した。
その他	職員及び展示業務に従事する委託者の室内履きの徹底、収蔵庫専用履物の設置、防塵マット・ドアブラシの設置、生花・動物・虫等の持ち込み制限（生花のみ、やむを得ない場合は袋等で包む対応）、２階及び３階の展示エリアでの飲食禁止等の徹底

10-2　危機管理

自衛消防隊として非常時に迅速な初動と的確な活動を行うため、職員による火災を想定した総合避難訓練を実施。

実施日：令和２年 12 月 14 日（月）

訓練内容	
講義	「自衛消防隊の編成と任務」、「館内の消防設備」、「避難経路の確認」 「焼失させてはならない展示・収蔵物、重要書類等の確認」、「監視カメラ」
消火設備の確認 ・放水訓練	「消火設備の位置確認」「消火設備の誤作動とその解除方法」 「ハロゲン化物消火設備の操作方法」「防火戸・防火シャッターの操作方法」 「消火栓の放水訓練（１階授乳室前消火栓→駐輪場前へ放水）」
複合火災受信設備・ 非常放送設備の操作	「館内アナウンスによる来館者への情報提供と混乱防止」 「作動中の消火設備の確認」「誤作動の場合の解除方法と館内アナウンス」

11　統計

11-1　施設利用状況

（１）令和２年度月別入館者数等

月	入館者		ふるさとラボ	クライミング		企画展・特別展	
	開館日数	入館者数	入場者数	開催日数	利用者数	開催日数	入場者数
４月	0	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う臨時休館					
５月	12	629	65	休止		―	―
６月	24	2, 241	187	8	102	―	―
７月	25	3, 019	323	10	188	―	―
８月	26	3, 518	373	17	312	―	―
９月	26	3, 468	372	10	189	―	―
10 月	27	3, 908	582	9	159	23	1, 035
11 月	25	5, 350	806	11	195	25	1, 193
12 月	24	4, 003	748	9	130	―	―
１月	24	4, 295	333	10	122	14	1, 340
２月	24	6, 666	690	10	123	24	2, 719
３月	26	6, 697	385	10	191	12	2, 793
合計	264	43, 794	4, 864	104	1, 711	98	9, 080

※臨時休館日数：43 日（大雨、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）

（２）累計入館者数等

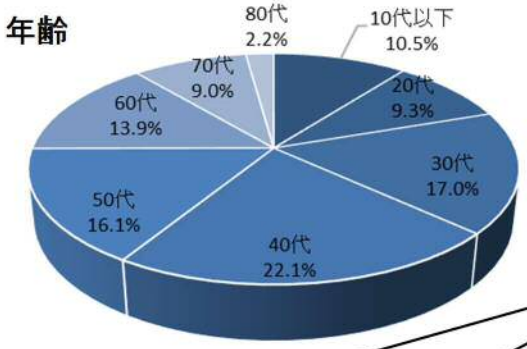
年度	来館者数		ふるさとラボ	クライミング		企画展・特別展	
	開館日数	来館者数	入場者数	開催日数	利用者数	開催日数	入場者数
平成 30(2018)	212	73, 642	6, 829	84	1, 322	128	6, 304
平成 31(2019)	276	98, 980	12, 130	102	1, 906	168	19, 870
令和２(2020)	264	43, 794	4, 864	104	1, 711	98	9, 080
合計	752	216, 416	23, 823	290	4, 939	394	35, 254

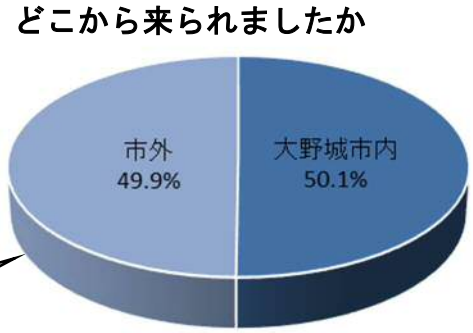
※平成 30 年度は７月開館以降の数値。ふるさとラボ入場者数は平成 30 年８月以降の数値。

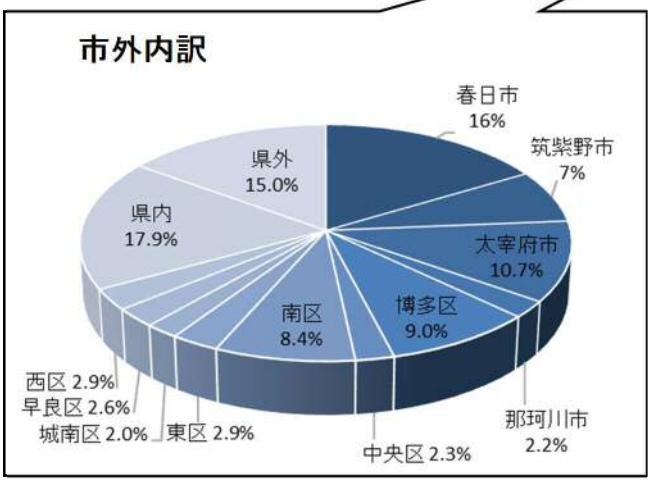
11-2　来館者アンケート

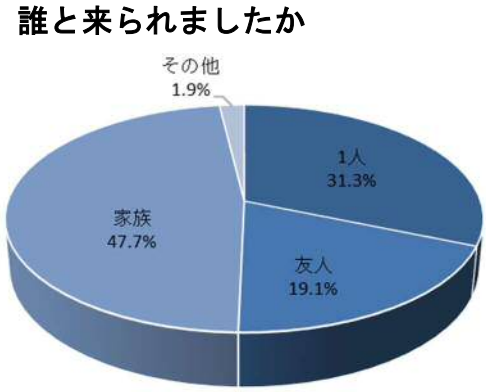
令和２年度アンケート回収件数：742 件

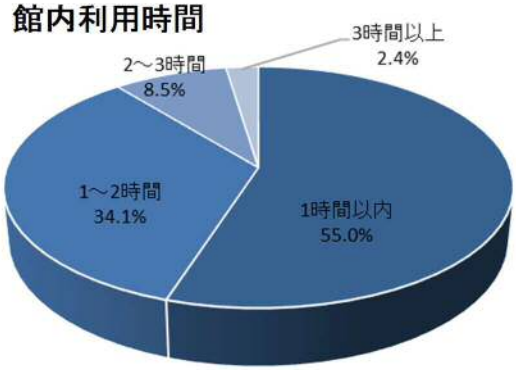
結果は下記のとおり。（未回答除く）

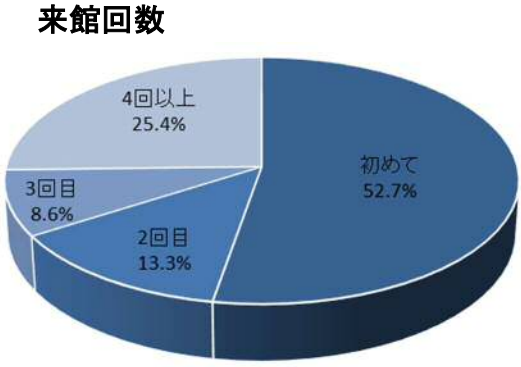


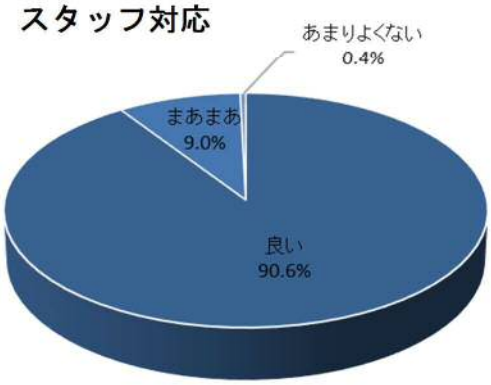


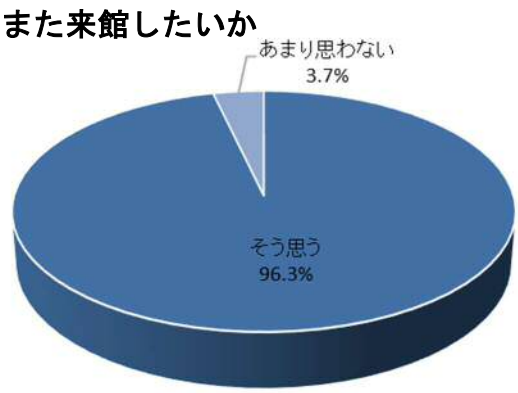












大野城心のふるさと館年報　2020

令和３年８月 25 日発行

編集・発行　　大野城心のふるさと館

〒816-0934 福岡県大野城市曙町３丁目８番３号

TEL：092-558-5000　FAX：092-558-2207

http://www.onojo-occm.jp/

ー歴史と、まちと、人と、想いとー
「つなぐ、つながる。」
市民ミュージアム

OCCM

大野城心のふるさと館

Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

ANNUAL REPORT
OF
Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum
2020